

八甲田山

観賞日 2018・02・12

制作 1977年 日本

上映時間：169分

監督 森谷 司郎

原作 新田 次郎 『八甲田山死の彷徨』

脚本 橋本 忍

音楽 芥川 也寸志

出演者 高倉健(徳島大尉、中隊長/弘前第31連隊)

北大路欣也(神田大尉、中隊長/青森第5連隊) 加山雄三(倉田大尉/青森)

三國連太郎(山田大隊長、少佐/青森) 島田正吾(旅団長、友田少将)

丹波哲郎(第三十一連隊長、児島大佐) 小林桂樹(第五連隊長、津村中佐)

緒形拳(杉山伍長) 加賀まりこ(徳島妙子) 栗原小巻(神田はつ子)

(あらすじ)

1901年(明治34年)10月 弘前第八師団第四旅団本部で友田旅団長が青森歩兵第五連隊と弘前歩兵第三十一連隊の連隊長等を集め、寒地装備と寒地での実地訓練の検討を行った。1902年1月20日弘前隊出発、1月23日青森隊出発、八甲田山で行き交う行動計画であった。徳島大尉(弘前隊)は下士官主体の27名の少数精鋭、神田大尉(青森隊)は山田大隊長の介入もあり中隊規模の210名という編成となった。この人員構成が両隊の行末に大きな差が出た。

ではその結末は如何に……

(解説)

橋本プロダクション・東宝映画・シナノ企画の製作。

1902年(明治35年)、関係が悪化したロシアとの開戦不可避と見られており、対露戦の準備として行われた。厳冬期の八甲田山での行軍演習中に、青森の連隊が遭難。わずかな生存者のみで大多数が死亡した事件を元にし、一部のフィクションをも付け加えて壮絶な世界が描かれています。

神田大尉の「天は我々を見放した」は当時、流行語になった

[日露戦争] 1904年(明治37年)2月8日～1905年(明治38年)9月5日
アメリカ仲介の下で終戦交渉、ポーツマス条約で講和、日本全権/小村寿太郎外相、
ロシア全権/セルゲイ・Y/ウィッテ

[新田次郎]

本名：藤原寛人、小説家、気象学者。神田電気学校(現：東京電機大)卒業
富士山気象レーダー建設の当事者

作品：強力伝/第34回直木賞、富士山頂、孤高の人、アイガー北壁、武田信玄、
武田勝頼、大久保長安など多数

藤原正彦(次男) 数学者 著書「国家の品格」「若き数学者のアメリカ」